

2026 年度入学試験

訂 正 (問 題)

日本史

問題冊子

P15 II 問 4

【誤】 オ. 九州地方の甕棺墓などでは、中国の元号などが
銘文に刻まれた青銅鏡が・・・

【正】 オ. 九州地方の甕棺墓などでは、中国でつくられた
青銅鏡が・・・

P29 V 問 6

【誤】 ……，寛政の改革に際して幕府から処罰された
人物の姓名を記しなさい。

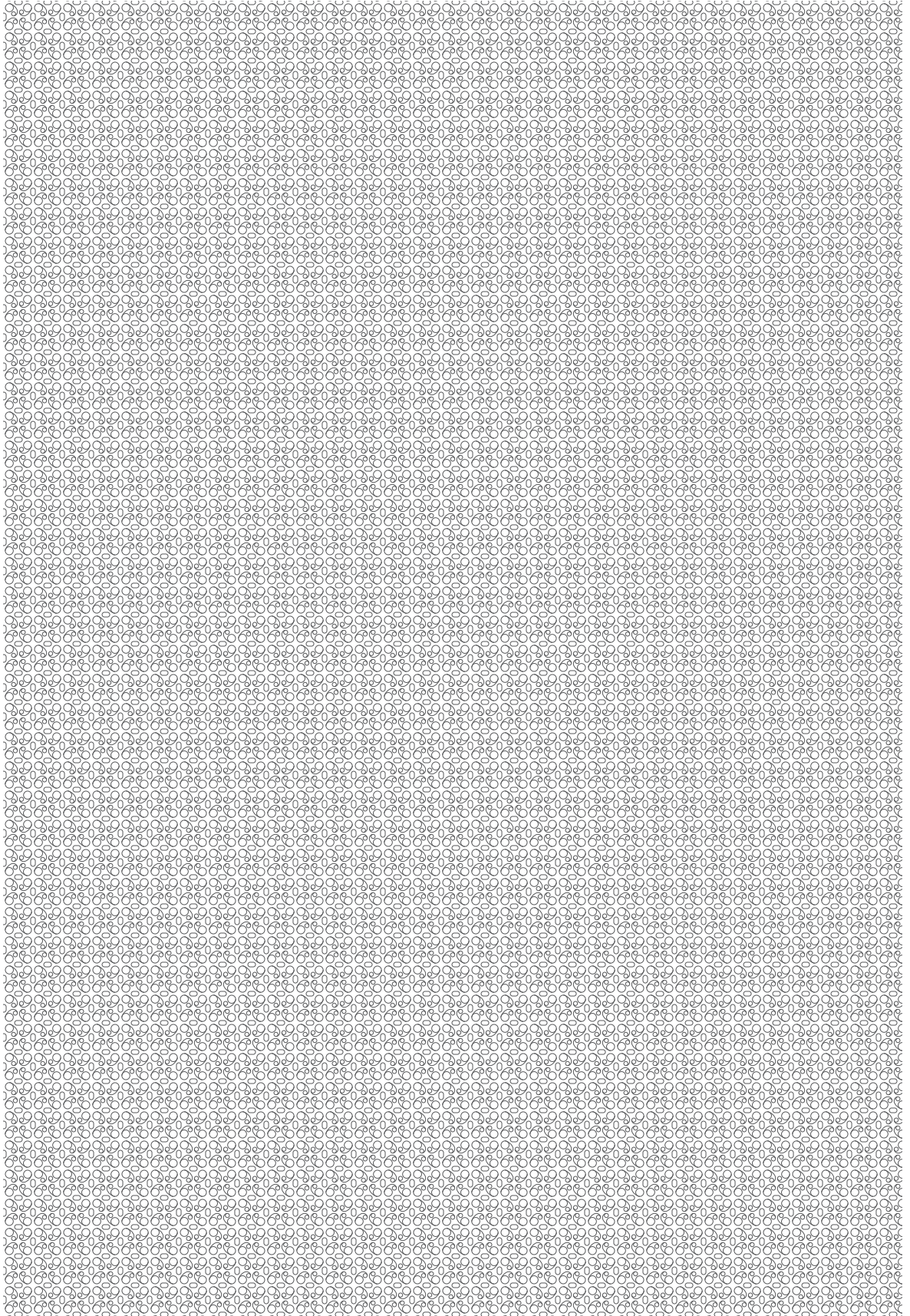
【正】 ……，寛政の改革に際して幕府から処罰された
人物の名前を記しなさい。

2026年度入学試験問題

日本史

(試験時間 14:50～15:50 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄の枠内に記入もしくはマークしてください。解答欄以外への記入およびマークはすべて無効となります。特に、記述解答用紙の採点欄に解答を記入しないよう、注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、一度マークした箇所を修正する場合、しっかりと消してください。消し残りがあると、解答が無効となることがあります。また、消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入・マークしてください。未記入や記入・マークミスなどがあった場合は、当該科目の解答は無効になります。



【歴史総合】

I 下記の問いに答えなさい。解答は、マーク解答用紙の所定の欄に正しくマークしなさい。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(20点)

A 多摩地域で歴史を学ぶ森久保さん・大塚さん・加藤さん・豊口さんのグループは、八王子と世界の歴史との関わりを調べる中で、古道「絹の道」と資料1を見つけた。

古道「絹の道」



資料1 「絹の道」の解説

八王子の中心部からやりみず鑓水を通して横浜へ至る浜街道は、輸出用の生糸の流通路となり、後に「絹の道」と呼ばれるようになりました。①

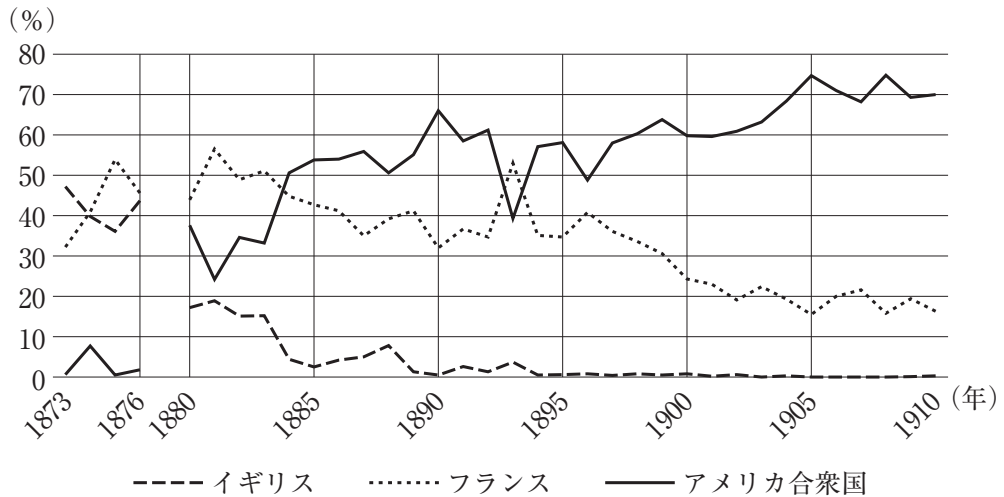
安政6年(1859年)の横浜開港により、そうと桑都八王子はいち早く新しい時代を迎えました。やと谷戸にこ囲まれた中で農業や養蚕などを生業としていた鑓水は、外国人遊歩規定で定められた横浜から40キロメートルの圏内に位置することから、日本の養蚕に興味のあった西洋人から注目されました。(中略)

明治時代に入ると、八王子と横浜を結ぶ浜街道は、生糸商人や西洋人が行き来するようになりました。南多摩郡鑓水村の商人は、生糸の売買で大きな富を得て、沿道の大塚山にどうりょうどう道了堂を建てたり、いしどうろう諏訪神社に石燈籠を寄進したりするなど、文化的な功績も残しました。さらに、生糸商人が横浜で見聞きした西洋の新しい文化や横浜での出来事を鑓水へ、そして、八王子の中心部へ伝えていきました。③

(八王子市生涯学習スポーツ部文化財課『はちおうじ物語』)

問1 下線部①に関連して、森久保さんは、明治時代における日本の生糸輸出相手国の変化を示す次のグラフを見つけた。このグラフに関して述べた下の文あ・いについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、さらに下のa～dの中から一つ選びなさい。

グラフ 日本からの生糸輸出に占める各相手国の比率



(1877～1879年はデータなし。1892年までは数量、1893年以降は金額に基づく。『横浜市史』により作成)

- あ スエズ運河会社の株式をエジプトから取得したことで、イギリスはフランスよりも多くの生糸を日本から輸入するようになった。
- い ポーツマス条約が結ばれた年、アメリカ合衆国は日本から積み出される生糸の70パーセント以上を輸入していた。
- a あ — 正 い — 正 b あ — 正 い — 誤
- c あ — 誤 い — 正 d あ — 誤 い — 誤

問2 森久保さんは、1880年代にアメリカ合衆国向けの生糸輸出が急増した背景にも着目して、調べたことを次のメモにまとめた。文章中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dの中から一つ選びなさい。

(江上波夫監修『新訳世界史史料・名言集』)

(注1) 一族。

地図



横浜開港の時期および資料2・3の順番

X 横浜開港 — 資料2 — 資料3

Y 横浜開港 — 資料3 — 資料2

Z 資料3 — 横浜開港 — 資料2

a あ — X b あ — Y c あ — Z

d い — X e い — Y f い — Z

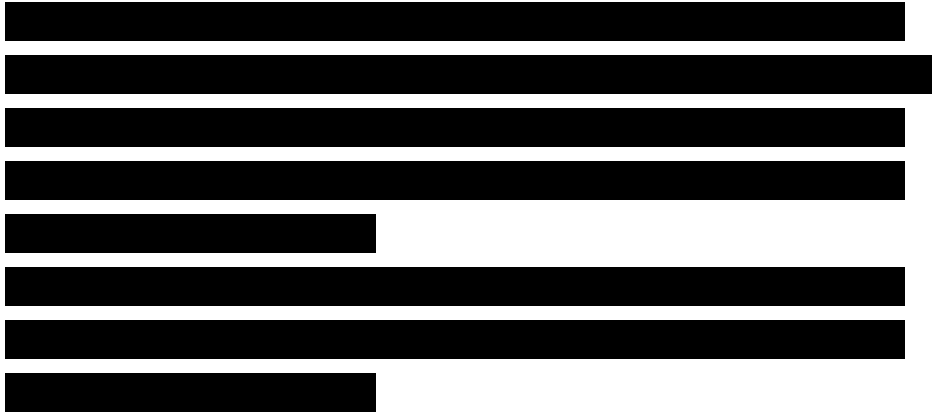
g う — X h う — Y i う — Z

問4 下線部③に関連して、明治初期の多摩地域にはさまざまな方面からヨーロッパの思想が伝えられ、自由民権運動が活発化した。加藤さんは、八王子の北の五日市で1881年に起草された憲法案（五日市憲法草案）に興味をもち、その内容と大日本帝国憲法を比較した結果を次の表にまとめた。またその内容を同時代のヨーロッパの思想と比較するために、資料4と資料5を用意した。表および資料4・5から読み取れることを述べた文として誤っているものを、下のa～dの中から一つ選びなさい。

表

項目	五日市憲法草案	大日本帝国憲法
君主の権威・ 権限	<p>(第1条) 日本国ノ帝位ハ神武帝ノ正統タル今上帝ノ子裔ニ世伝ス</p> <p>(第18条) 国帝ノ身体ハ神聖ニシテ侵ス可ラス又責任トスル所ナシ (後略)</p> <p>(第19条) 国帝ハ立法行政司法ノ三部ヲ総轄ス</p>	<p>第一条 大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス</p> <p>第三条 天皇ハ神聖ニシテ侵スヘカラス</p> <p>第四条 天皇ハ国ノ元首ニシテ統治権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ</p>
国民の自由・ 権利	<p>(第45条) 日本国民ハ各自ノ権利自由ヲ達ス可シ他ヨリ妨害ス可ラス且国法之ヲ保護ス可シ</p> <p>(第47条) 凡ソ日本国民ハ族籍位階ノ別ヲ問ハス法律上ノ前ニ対シテハ平等ノ権利タル可シ</p>	<p>第二十二條 日本臣民ハ法律ノ範囲内ニ於テ居住及移転ノ自由ヲ有ス</p> <p>第二十三條 日本臣民ハ法律ニ依ルニ非スシテ逮捕監禁審問処罰ヲ受クルコトナシ</p>

資料4 フランス人権宣言 ※著作権の関係により、掲載ができません。



(江上波夫監修『新訳世界史史料・名言集』)

資料5 プロイセン憲法

第4条 すべてのプロイセン人は、法律の前に平等である。身分上の特権は認められない。(後略)

第5条 人身の自由は保障される。その制限、特に拘禁が許される条件及び方式は、法律によって定められる。

第43条 国王の一身は、不可侵である。

(高田敏・初宿正典編訳『ドイツ憲法集』)

【出典】高田敏・初宿正典編訳『ドイツ憲法集(第8版)』(信山社、2020年)

- a 国帝が立法・行政・司法を総轄する点で、五日市憲法草案は、フランス人権宣言と異なる。
- b プロイセン憲法・五日市憲法草案・大日本帝国憲法はいずれも君主(国王・国帝・天皇)の不可侵を主張する。
- c 国法は人間の自由を保護すべき点とする五日市憲法草案の立場は、フランス人権宣言の主張に近い。
- d 大日本帝国憲法が法律の前での臣民の平等を明記しないことは、プロイセン憲法の影響を受けたものである。

問5 豊口さんは、自由民権運動が展開された時期の八王子の農村の状況に興味をもち、八王子市内の子安神社にある「困民党之碑」に刻まれた資料6と、民権派ら知識層を^{まるまるちんぶん}読者とする雑誌『团团珍聞』に掲載された資料7を見つけた。さらに、下線部④の背景について理解を深めるために、松方正義自身が当時の財政政策について語った資料8を用意した。資料6～8から読み取れる内容や下線部④について述べた下の文あ～えについて、波線部の正しいものの組み合わせを、さらに下のa～dの中から一つ選びなさい。

資料6 「困民党之碑」の碑文

明治十四年の松方デフレ政策により、農村は疲弊し、農民は生活の途を失った。かれらは各地で困民党を結成し決起していった。

明治十七年九月五日、塩野倉之助小池吉教を指導者とした多摩の農民二百十余名は蓑笠^{みのかさ}をつけ、ここ西中野村子安神社の森に結集した。

困民党は、さらに武蔵相模の百五十箇村が結束し、武相困民党へと大きく展開していった。

資料7 『团团珍聞』456号（1884年9月6日）に掲載された風刺画



かね かたき
「金の敵」

大将と思ほしきハ貧覆輪の鞍(注1)置たる野次馬に打勝り数千の勢子(注2)に
ハ貧棒(注3)を担せて者共(者ども)進めと下知(注4)を為せど脛に疵もつ
雑兵ハモーかなはじ(もうかなわじ)とや思ひけん右往左往に逃失せけり

(注1) 貧相な鞍。(注2) 狩りに際して獲物の獣を追い立てる人夫。

(注3) 「びんぼう(貧乏)」を武器の名前に見立てたしやれ。(注4) 命令。

資料8 松方正義「各地方長官ノ延遠館集會席上ニ於ケル演説」(1882年12月)
財政ノ救治(注1)ナリ、兵備ノ拡張ナリ、決シテ偏廢(注2)ス可カラサル此
ノ如シ。今ヤ此二者ヲシテ双進併行相戻ラス(注3)、之ヲ処シテ饒然宜キヲ
得(注4)セシメンコトヲ欲セハ、蓋シ国帑(注5)ヲ増加スルノ外又タ他ニ方策
ナカルヘシ。国帑ヲ増加スルニ其法種々アリト雖モ、蓋シ税額ヲ増加スル
ノ法ニ若クハナシ。(中略)今若シ如此税額ヲ増加シ、一方ハ以テ海陸ノ
軍備ヲ皇張(注6)シテ、一方ハ以テ現今財政ノ目的ヲ変セス益々救済ノ方ヲ
進メハ是レ所謂兩全(注7)ノ策ナリト信ス。

(大内兵衛・土屋喬雄編『明治前期財政経済史料集成』)

(注1) 立て直してあるべき状態に戻すこと。

(注2) 二つのもののうち一方だけを残して一方を捨てること。

(注3) 並行して互いに矛盾しない。(注4) 十分かつ適切な状態である。

(注5) 国庫やその財貨。(注6) 拡大。

(注7) ともに完全であること。

あ 物価変動に加えて増税策がとられたため、農民の生活がさらに厳しく
なったことが、困民党の決起につながった。

い 「蜂逢ふ子」(八王子)の「貸附城」に押し寄せる困民党に対して、民
権派は同情的であった。

う 松方デフレの時期には壬午軍乱が起こるなど朝鮮半島の情勢が緊張し、
軍備拡張の気運が高まっていた。

え 不換紙幣の整理を進めた松方は、1882年に日本銀行を設立し、金本位制
による通貨供給体制を確立した。

a あ・う b あ・え c い・う d い・え

B 2015年9月に国際連合（国連）で策定されたSDGs（持続可能な開発目標）^①は現在人びとのあいだに広く浸透し、その理念にもとづいた活動が社会の各層でおこなわれている。SDGsでかけられたゴールやターゲットには環境をめぐるテーマが多数盛り込まれているが、環境問題に対する国際社会の取り組みはそれ以前からもなされてきた。その一つが1972年にひらかれた国連人間環境会議である。環境をテーマとした初めての国際会議であり、「かけがえのない地球」をスローガンに世界113ヵ国が参加した。

この会議には日本からも代表団が派遣されており、首席代表を務めた大石武一郎環境庁長官は一般演説に登壇して次のように発言した。

戦後わが国は戦争の永久放棄を宣言し、民主主義と平和主義を国の基本方針^②と定めました。そして荒廃した国土と壊滅した経済社会から立ち直り国民の福祉の向上を図るため、エネルギー産業、重化学工業を主軸として、経済の高度成長を進めることになったのであります。国民は20年にわたって懸命の努力をつづけ、ようやくその目標に近づいたかに見えたとき、高度経済成長の反面である深刻な環境破壊に直面することになったのであります。大気は汚れ河川は汚濁にまみれました。都市は過密化し、貴重な自然は破壊され始めました。ついには公害^④による多数の患者と死者をさえ発生するに至ったのであります。日本国民はより多くの生産、より大きいGNPが人間幸福への努力の指標であると考え、これに最大の情熱を傾けて参ったのであります。その考えが誤りであることに気がつきました。

大石は戦後の日本において大きな社会問題となった公害への反省を世界に発信し、こうした日本の経験を開発途上国^⑤によって活用されることを強く念願すると表明したのである。その後の日本は、公害防止装置などの研究開発とともに、その技術を世界各国へ普及させる取り組みを積極的に進めてきた。公害を経験した日本のこうした取り組みは、先述したSDGsの実現にむけた活動としても位置づけることができるだろう。

問6 下線部①に関連して、戦後の国際政治における国連の動向あ〜うと直接関係しないものを、次のa〜dの中から一つ選びなさい。

あ 日本の国連加盟承認

い 東西ドイツの国連加盟承認

う パレスチナをユダヤ人国家・アラブ人国家に分割する国連決議

a 第1次中東戦争の勃発

b ニクソン米大統領の中国訪問

c 日ソ共同宣言の調印

d 東方外交の展開

問7 下線部②に関連して、次のメモ1〜3は戦後日本の民主化をめぐる改革の項目を簡潔な説明とともに調べてまとめたものである。文章中の空欄 ～ に入る語句の組み合わせとして正しいものを、下のa〜fの中から一つ選びなさい。

メモ1

項目 —

説明 — 婦人参政権の付与や教育制度の改革のほか、経済機構の民主化もこのなかで求められた。

メモ2

項目 — 財閥解体

説明 — 企業間の公正かつ自由な競争を保障し、経済の民主化を進めるため、 などの法律が制定された。

メモ3

項目 — 労働三法の制定

説明 —

a — シャウプ勧告 — 不正競争防止法

— 労働組合法では労働者の団結権などが保障された。

b — シャウプ勧告 — 不正競争防止法

— 労働関係調整法により8時間労働制などが規定された。

c — 五大改革指令 — 不正競争防止法

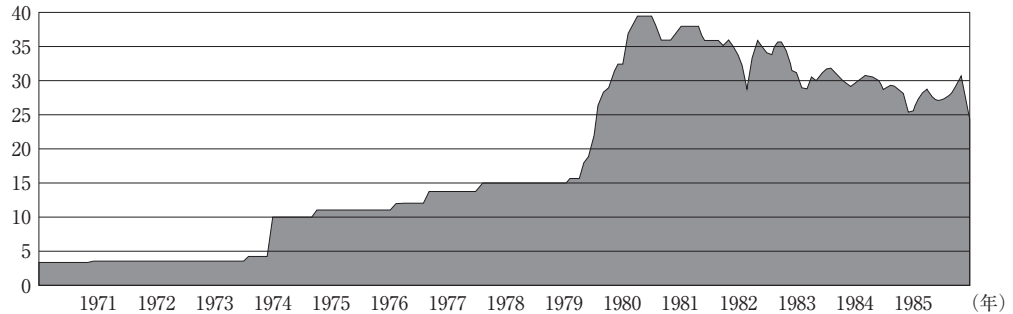
— 労働組合法では労働者の団結権などが保障された。

- d ア — 五大改革指令 イ — 独占禁止法
ウ — 労働関係調整法により8時間労働制などが規定された。
- e ア — 五大改革指令 イ — 独占禁止法
ウ — 労働組合法では労働者の団結権などが保障された。
- f ア — シャープ勧告 イ — 独占禁止法
ウ — 労働関係調整法により8時間労働制などが規定された。

問8 下線部③に関連して、下のグラフは高度経済成長期以降の原油価格の推移を示したものであり、写真はそれに関連したものである。このグラフおよび写真に関する次の説明あ〜うについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、その下のa〜hの中から一つ選びなさい。

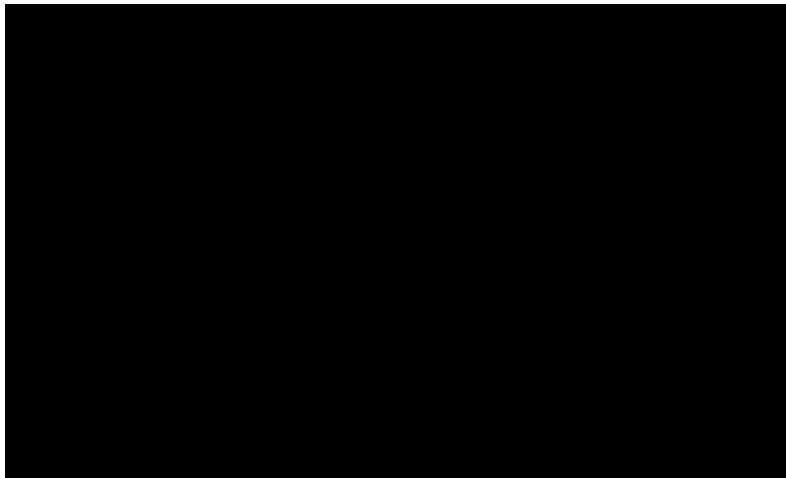
グラフ

(ドル/バレル)



(Federal Reserve Bank of St. Louis)

写真 ※著作権の関係により、掲載できません。



- あ 1974年の価格高騰の背景として、第4次中東戦争の勃発とイスラエルを支持する国々への石油の禁輸・輸出制限の実施が挙げられる。
- い 1979年の価格高騰の背景として、イラクのクウェート侵攻を端緒とする湾岸戦争の勃発が挙げられる。
- う 写真にみられるように、オイルショックによるデフレーションと物不足への不安から、石油を原料とする紙製品の買いだめが起こった。
- a あ — 正 い — 正 う — 誤
- b あ — 誤 い — 正 う — 誤
- c あ — 誤 い — 正 う — 正
- d あ — 誤 い — 誤 う — 正
- e あ — 正 い — 誤 う — 正
- f あ — 正 い — 誤 う — 誤
- g あ — 正 い — 正 う — 正
- h あ — 誤 い — 誤 う — 誤

問9 下線部④に関連して、次の資料1・2は下のあ～えに挙げた項目のうち、どれを探究する際に適切な資料といえるか。その組み合わせとして正しいものを、さらに下のa～dの中から一つ選びなさい。

資料1

兎ニ角群馬、栃木、両県ノ間ヲ流レル渡良瀬川ト云フ川ハ、鉾山カラ流レテ、群馬県ト栃木県ト、双方ノ沿岸ノ田畑ヲ併セテ千二百余町^(注1)モアル、今日マデ拙者ノ調べタ所デハ千二百町余モアル、此位ナ地面ト云フモノガ、二年モ三年モ穀物ガ取レナイノデアル、殊ニ昨年ノ二十三年ト云フモノハ、一粒モ登^{みの}ラナイ、登^{みの}ラナイノミナラス、物ガ生ヘナイノデアル、斯^{かく}ノ如ク重大ナル事件デアルノデアル。

(「衆議院議事速記録」1891年12月25日付)

(注1) 面積の単位。

資料2

ロンドン
倫敦の町を散歩して試みに痰^{たん}を吐きて見よ。真黒なる塊りの出るに驚くべし。何百万の市民はこの煤烟^{ばいえん} (注1) とこの塵埃^{じんあい} (注2) を吸収して毎日彼らの肺臓を染めつつあるなり。我ながら鼻をかみ痰をするときは気のひけるほど気味悪きなり。

(『漱石日記』1901年1月4日付)

(注1) すすを含んだ黒い煙。 (注2) ちりとほこり。

- あ 足尾鉍毒事件の被害の実態について
 - い 足尾鉍毒事件に対する帝国議会の対応について
 - う 産業革命以降の工業化がもたらした影響について
 - え 第一次世界大戦が産業に与えた影響について
- a 資料1 — あ 資料2 — う
 - b 資料1 — あ 資料2 — え
 - c 資料1 — い 資料2 — う
 - d 資料1 — い 資料2 — え

問10 下線部⑤に関連して、開発途上国に関する次の問いを考察するための学習活動として誤っているものを、下のa～dの中から一つ選びなさい。

問い

開発途上国の多くは、いわゆる第三世界に存在している。戦後の国際社会において、この第三世界の国々はどのように連携をはかり、また行動してきたのだろうか。

学習活動

- a 1948年の米州機構結成にいたる過程と、キューバ革命によるラテンアメリカ諸国への影響について調べる。
- b 1955年にアジア=アフリカ会議が開催された背景と、同会議で打ち出された平和十原則について調べる。
- c 1955年に結成されたワルシャワ条約機構が、「プラハの春」とよばれる民主化運動にどのように関与したかを調べる。
- d 1963年のアフリカ統一機構結成にいたる経緯と、旧宗主国との関係について調べる。

【日本史探究】

- Ⅱ 次の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

人類は、はじめはすべて徒歩によって移動していた。人類の故地はアフリカ大陸であり、新人が日本列島に達したのは約3万8千年前の後期旧石器時代であった。その際、津軽海峡や対馬海峡は現在よりも狭いが閉じてはおらず、南西諸島にも人類の痕跡が残されていることから、何らかの海上交通手段も持っていたことが想定される。縄文時代になると、人類最古の交通手段の道具の一つとされる によって神津島など伊豆諸島へも縄文人が渡っており、天然のガラスともいわれる など石器の原材料をもたらした。九州の鷹島で産出された は、朝鮮半島の新石器時代の遺跡からも石器としての出土が確認されている。このような遠隔地の産物が相互に交換されるような状況は、 流域に産出するヒスイや北陸地方～東北地方の日本海側の地域に産出したアスファルトなどにも認められ、物々交換などによって日本列島の中で広域に交易されていたことがわかっている。弥生時代になると朝鮮半島を通じて大陸の文物が九州地方北部から近畿地方を中心にもたらされると^①もに、各地の勢力が、中国の王朝と政治的な関係を結ぶような使者の往来もおこなわれるようになった。奈良県唐古・鍵遺跡では、各地の土器が多く出土し、集落内に市場があったとも推定されている。このように、広域にわたる交流が進むとみられると同時に、農耕に伴って土地や水をめぐる戦争が始まったと考えられており、関東地方以西の各地に防御的性格を備えた や高地性集落などが出現したことが注目される。

弥生時代には次第に階級の差が大きくなっていき、弥生後期には西日本を中心に各^②地に大型の墳丘墓がつくられるようになったことから、各地に王が出現し、さらにそれらが連合していくことによって広域にわたる勢力が出現していったと捉えられる。

古墳時代には、近畿地方に中心を置くヤマト政権が次第に各地を統合していき、政治体制をつくっていった。その中でも、朝鮮半島との関係が深まり、4世紀後半の高句麗の王が建てた 碑の碑文には、倭が朝鮮半島へ出兵し、争ったことが記^③

されている。また、中国の史書にその名がみられる倭の五王^④が、中国の王朝への朝貢を相次いでおこなった。

飛鳥時代にも、中国から多くの影響を受けた。その一つとして仏教が伝来し、7世紀前半には蘇我氏や渡来系氏族、王族によって、多くの寺院が建立された。また、遣隋使や遣唐使^⑤が中国へ派遣されたことは、倭の政治や文化に大きな影響を与えることになった。

問1 空欄Aに入る名称を記しなさい。

問2 空欄Bに入る名称を記しなさい。

問3 空欄Cに入る河川名を記しなさい。

問4 下線部①に相当する弥生時代の大陸との交流についての説明として適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 銅鐸は、朝鮮半島からもたらされた馬につける鉄製の鈴を基として、日本列島で独自に発展した祭祀用の道具である。

イ. 青銅製の道具である銅戈とよばれる利器を用いて、生活に必要な食料を加工していた。

ウ. 青銅製のナイフである銅矛によって、骨角製の釣針などを製作し、漁撈活動をおこなっていた。

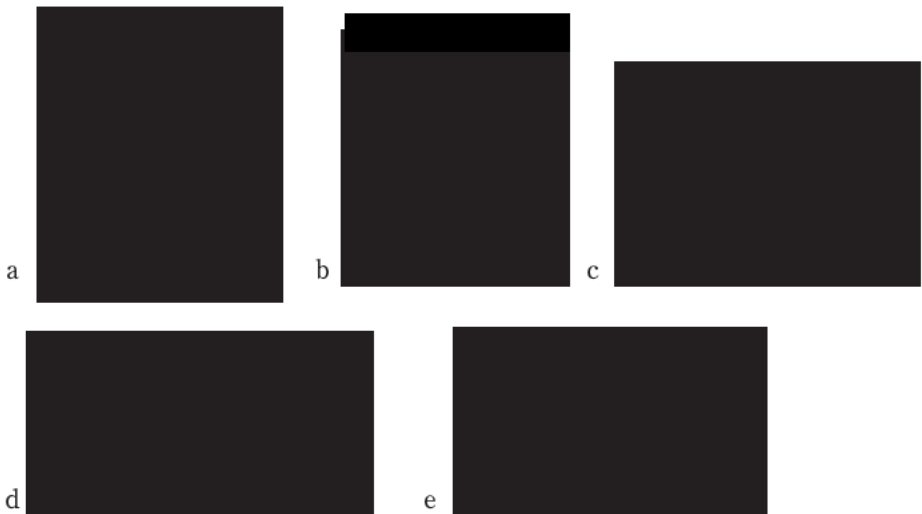
エ. 妊娠した女性をかたどる土偶をつくり、大陸から伝わった占いなど何らかの祈りの道具とした。

オ. 九州地方の甕棺墓などでは、中国の元号などが銘文に刻まれた青銅鏡が多数副葬される例がみついている。

問5 空欄Dに入る名称を記しなさい。

問6 下線部②に関連して、弥生時代の葬制に関する写真とその説明として適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 写真aのような甕棺墓は、縄文時代の土壙墓と同じように貝塚に埋葬される例が多く発見される。
- イ. 写真bのような平面形が鍵穴状をなす墳丘墓は、次第に日本列島全域に広がる。それは弥生時代に巨大な政治勢力が誕生したことを示す。
- ウ. 写真cのような横穴型の埋葬施設は、後からの追葬が可能となる墓で崖などの立地に群集してつくられていると考えられる。
- エ. 写真dのような四隅突出型墳丘墓は、島根県から富山県にかけての日本海側の地域につくられていることが判明している。
- オ. 写真eのような方形周溝墓は、西日本に存在し、溝のなかから銅鐸などの副葬品が多数出土することが知られている。



問7 空欄Eに入る名称を記しなさい。

※写真a,b,c,d,eは著作権の関係により、掲載ができません。

問8 下線部③に関連して、4世紀頃の倭と朝鮮半島との関係についての説明として適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 大伴金村は朝鮮半島への出兵を主導したが、のちに難波宮がおかれる地を選ぶ際に暗殺されている。
- イ. 辰韓の諸国の中から発達した百済は、古代の天皇陵の特徴である八角墳を日本列島へもたらし、斉明天皇がこれを採用している。
- ウ. 弁韓とよばれていた加耶諸国では、小国がいくつも並立していたが、鉄を多く産出するため、4世紀には倭が深い関係を結んでいた。
- エ. 馬韓の諸国の中から発展した新羅では、高松塚古墳と同じように、天井に星宿図が描かれた古墳が多くつくられた。
- オ. 岩戸山古墳は前方後円墳の形態を持ち、近畿地方の大型古墳の墳形と共通し、新羅と結んで反乱を起こした筑紫国造磐井の墓とされる。

問9 下線部④の倭の五王の説明として適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 讚は応神・仁徳・履中の天皇のどれかに相当すると考えられている。これらの大王の墓は古市・百舌鳥古墳群に含まれている巨大な前方後円墳が相当する可能性が高い。
- イ. 珍は、朝鮮半島へ出兵した神功皇后として『日本書紀』に記される人物で、継体天皇の皇后と考えられている。
- ウ. 済は、允恭天皇が相当すると考えられている。『隋書』倭国伝では、中国に対し対等外交を求めたとされる。
- エ. 興は、反正天皇が相当すると考えられている。中国から金印紫綬を与えられ、朝鮮半島に対する政治的優位を認められたとされる。
- オ. 武は、雄略天皇が相当すると考えられている。雄略は、埼玉県の稲荷山古墳出土の七支刀銘文にみられるワカタケル大王に相当するとされる。

問10 下線部⑤の遣隋使や遣唐使の説明として適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 犬上御田歙は、はじめての遣隋使として渡航し、翌年裴世清を伴って帰国した。

イ. 小野妹子は、607年に遣隋使として隋の煬帝に謁見し、朝貢して冊封を求めた。

ウ. 高向玄理は、遣隋使に留学生として同行し、厩戸王の策定した憲法十七条に大きな影響を与えた。

エ. 留学僧であった旻は、帰国後に乙巳の変のちにおこなわれた中大兄皇子による政治改革に伴い、国博士として登用された。

オ. 留学生であった南淵請安は、台風により帰国できずに遭難死したが、仏教にのっとなって遺骨は火葬されて帰国した。

Ⅲ 次の1の史料と2の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。なお、史料は読みやすさを考えて一部改変している。(20点)

1 史料

(天平十三年三月)乙巳、^{みこと}詔して曰く、^{かたじけな}朕薄徳を以て^う忝くも重任を承く。未だ政化^(注1) ^{ひろ}弘まらず、^{こび}寤寐^(注2)に多く^は慙^①づ。(中略)頃者^{このころ}年穀豊かならず、疫癘^(注2)頻りに至る。(中略)宜しく天下の諸国をして各^{おのおの}七重塔一区^{うやま}を^{あわ}敬ひ造らしめ、并せて金光明最勝王経・妙法蓮華経一部を写さしむべし。(中略)又、国ごとの僧寺に封^(注3)五十戸、水田十町を施せ。尼寺には水田十町。僧寺は必ず二十僧有らしめよ。その寺の名は、金光明四天王護国之寺とせよ。尼寺は一十尼。その名は、A之寺とせよ。(中略)国司等、宜しく恒に^{けんぎょう}檢校を加ふべし。

(『続日本紀』)

(注1) 国を治め、民を導くこと。 (注2) 寝ても覚めても。 (注3) 封戸。

問1 下線部①は誰を指すか、漢字4文字で記しなさい。

問2 下線部②に関連して、当時の状況について述べた次のア～オの文章のうち、正しいものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 平城京全体に広まった疫病で都の衛生状態が悪化したため、檢非違使を創設して都の清掃を行った。

イ. この時の疫病蔓延の原因は、政争に敗れた早良親王の怨霊だと考えられ、鎮魂のため親王に崇道天皇の尊号が追贈された。

ウ. 天平年間の疫病の害を鎮めるため、西大寺に銅造四天王像が鑄造された。

エ. 当時都に流行した疫病は政府高官の間にも広まり、藤原式家の祖である藤原宇合が死去した。

オ. 疫病流行のさなか、皇族出身の橘諸兄が政権を握り、唐から帰国した阿倍仲麻呂を政治顧問に迎えた。

問3 空欄Aに入る語を、漢字4文字で記しなさい。

問4 上記の史料の詔が出された時代の出来事a～eについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 舎人親王らが編纂した『日本書紀』が完成した。
- b. 東大寺で大仏開眼供養が行われた。
- c. 天智天皇の孫である光仁天皇が即位した。
- d. 山背国の恭仁京に遷都した。
- e. 道鏡が太政大臣禪師となった。

- ア. a→d→b→e→c イ. c→a→d→b→e
- ウ. d→b→e→a→c エ. b→a→c→d→e
- オ. d→c→a→e→b

問5 奈良時代における仏教の受容と展開について述べた次の文章a～cについて、正しいものと誤っているものの適切な組み合わせを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 奈良時代には、仏教の力で国家の安定をはかろうとする鎮護国家の思想にもとづく施策が実行されるとともに、仏教思想と在来の神祇信仰とが融合し、仏と神は本来同一であるとする神仏習合思想もあらわれ、神宮寺が建立されるようになった。
- b. 7世紀後半には大官大寺や薬師寺がつくられ、国家による仏教興隆が推進された。8世紀以降も、都には興福寺・東大寺・唐招提寺など大寺院が相次いで建てられた。これらの寺院では、仏教理論を研究する南都六宗という学派が形成された。
- c. 平城京では仏教文化が発展する一方、僧の活動は厳しく統制された。そのため、民間への布教活動や社会事業を推進して民衆に支持されていた玄昉は当初国家の弾圧を受けたが、大仏造営に協力することで評価され、大僧正の位が与えられた。

- ア. a = 正 b = 正 c = 誤 イ. a = 正 b = 誤 c = 誤
- ウ. a = 誤 b = 正 c = 正 エ. a = 誤 b = 正 c = 誤
- オ. a = 正 b = 誤 c = 正

2 平安時代前期、遣唐使の一員として入唐した最澄・空海によって体系的な密教がもたらされた。その密教の修法は除災招福の機能を持つものとして、宮中の仏事に重用されていった。9世紀後半以降、撰閲政治と呼ばれる政治体制^③が形成される頃には、密教は天皇や貴族の除病・延命を祈る現世利益の手段となり、天皇・親王などの発願による御願寺が建立されるようになった。院政期になると、仏教を厚く信仰する天皇や上皇によって造寺や造仏が行われ、^④紀伊への熊野詣や高野詣も盛んに行われた。

現世利益を求める信仰が隆盛する一方、現世の不安から逃れようとする浄土教の信仰も流行した。浄土教は、阿弥陀仏の誓いを信じ、念仏して来世で極楽浄土に生まれることを願う教えである。10世紀後半に源信が『往生要集』を著して念仏を勧めると、この信仰はさらに広まりをみせた。浄土教普及の背景には、社会不安の増大とともに、釈迦の死後から仏法が衰え、それによって社会的混乱が起こるとされる という考え方があった。

同じ頃、浄土信仰に関係する建築や美術作品が多く生み出された。 が建立した平等院鳳凰堂は、その代表例の一つである。

問6 下線部③の形成過程で起きた事件を古いものから年代順に正しく配列したとき、古い方から数えて三番目に位置するものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 伴健岑・橘逸勢らが皇太子恒貞親王を擁して謀反を企てたとして流罪となり、事件後、藤原良房の甥の道康親王が皇太子となった。
- イ. 左大臣藤原時平の讒言により、菅原道真が大宰権帥に左遷された。
- ウ. 左大臣源高明に、娘婿の為平親王を擁立する陰謀があると源満仲らが密告したことにより、高明は失脚した。
- エ. 大納言伴善男が、宮中での放火を左大臣源信の仕業と主張したが、善男の子・中庸が真犯人とされ、父子は流罪となった。
- オ. 宇多天皇の時、橘広相が起草した勅書中の文言を理由に藤原基経が出仕を拒否し、政治が混乱した。

問7 下線部④に関連して、京の東の白河の地に天皇家によって相次いで造営された複数の御願寺を総称して何というか記しなさい。

問8 下線部⑤の著作の文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. ただ往生極楽のためには、南無阿弥陀仏と^{もうし}申て、疑なく往生するぞとおも^{おも}い思とりて、申外には別の子細候はず。

イ. それ往生極楽の^{きょうぎょう}教行は、^{じよくせ}濁世末代の^{もくそく}目足なり。道俗貴賤、^{たれ}誰か^き帰せざる者あらむや。

ウ. 我等は何して老いぬらむ、思へばいとこそあはれなれ、今は西方極楽の、弥陀の誓ひを念ずべし。

エ. 沙門空也は、父母を言はず、亡命して世にあり。或は云く、^{いわ}潢流より^{こうりゅう}出でたりといふ。口に常に弥陀仏を唱ふ。

オ. 土御門の堂に於いて、等身の金色阿弥陀^{ならび}并に百卷の阿弥陀経を供養す。^{ひとえ}偏に極楽に往生せむが為なり。

問9 空欄Bに入る適切な語を記しなさい。

問10 空欄Cに入る人物の姓名を記しなさい。

Ⅳ 次の1の文章と2の史料を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。なお、史料は読みやすさを考えて一部改変している。(20点)

1 鎌倉時代には、僧侶や商人らによる日本列島と中国大陸との往来が盛んとなり、南宋や元の文化がもたらされた。^①12世紀末、南宋に渡った経験のある重源は、宋人である陳和卿の協力により、勸進上人として東大寺の再建に当たった。また同時期に南宋に留学した栄西は、禅宗を日本に伝え、臨済宗の開祖として敬られるとともに、重源から東大寺の再建を引き継いだ。臨済宗は鎌倉幕府に重んじられて、南宋から蘭溪道隆や ほかの禅僧が招かれ、鎌倉に建長寺や円覚寺が建立された。その後も、夢窓疎石が足利尊氏の帰依を受けるなど、室町幕府の保護を受け、南宋の制度を採り入れて五山・十刹の制が整備されたほか、朱熹が起こした ^③や漢詩文の研究が五山の僧侶の間で進み、五山文学に影響を与えた。

問1 下線部①に関連して、12～16世紀における日本と中国大陸との間の往来を説明した次の文章a～eについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 陶磁器や銅銭等を積み、中国の寧波を出発して日本に向かっていった貿易船が、現在の韓国新安沖で沈没した。
 - b. 高麗を服属させたフビライ・ハンは、日本にも朝貢を要求する国書を送ってきたが、鎌倉幕府は返書を送らないことを決定した。
 - c. 中国に渡って禅を学んだ道元は、曹洞宗を日本にもたらし、坐禅そのものを重視する教えを説いて布教に努めた。
 - d. 堺商人と結んだ細川氏や博多商人と結んだ大内氏は、中国との貿易の実権を握ったが、両陣営は激しく争い、寧波の乱が起きた。
 - e. 対馬・壱岐・松浦地方の住民を中心とする海賊集団が、朝鮮半島や中国大陸の沿岸を襲い、中国では海禁政策が実施された。
- ア. a→c→b→d→e イ. b→c→e→d→a
 ウ. c→b→a→e→d エ. d→a→e→b→c
 オ. e→b→d→c→a

問2 下線部②に関連して、坐禅を通して師から与えられる問題を解決し、悟りに達することをめざす修行の名称を記しなさい。

問3 空欄Aに入る僧侶の名前を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 義堂周信 イ. 無学祖元 ウ. 絶海中津 エ. 万里集九
オ. 海北友松

問4 下線部③に関連して、官寺の住職の任免等、禅僧の管理を委ねるために室町幕府が設置した役職の名称を記しなさい。

問5 空欄Bに入る学問の名称を記しなさい。

2 史料

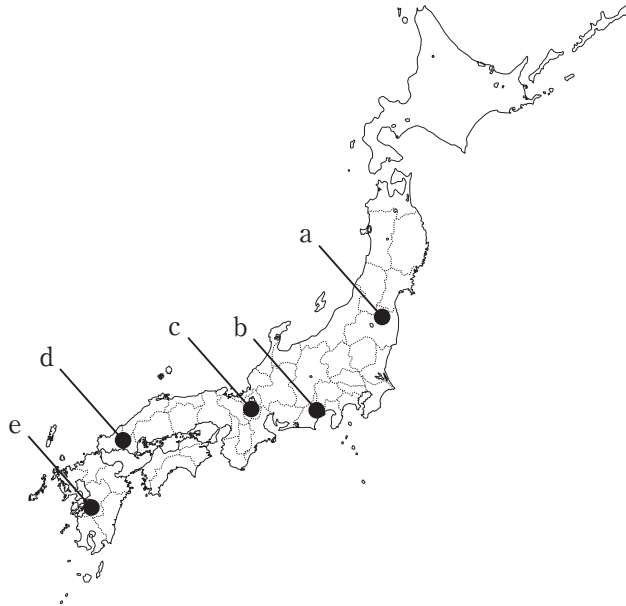
定^{さだむ} 今堀^{じげおきて}地下掟^{じげおきて}の事

④ 合^{あわせて} 延徳元年^{えんとく} 己酉十一月四日

- 一 薪・すみは、 のをたくべし。
- 一 より屋敷^{うけそうろう}請候^{うけそうろう}て、村人にて無物^{なきもの}置くべからざる事。
- 一 他所^{よそ}之人^{ひと}を地下^{うけにんそうら}に請人^{うけにん}候^{うけにん}わで、置くべからず候事。
- 一 の地^{わたくし}と私^{わたくし}の地^{わたくし}と、さいめ^{さいめ}相論^{そうろん}は、金^{かね}にてすますべし。
- 一 森^{あおぎ}にて青木^{あおぎ}は葉^{あおぎ}かきたる物は、村人は村を落すべし。村人にて無物は地下をはらうべし。⑤
- 一 家^{かた}売^{かた}たる人^{かた}の方^{かた}より、百文^{もん}には三文^{かん}ずつ、壹貫文^{さんじゅう}には へ出すべき者なり。この旨^{かん}を背^{さんじゅう}く村人^{さんじゅう}は、座^ざをぬくべきなり。⑥
- 一 家^{だい}売^{だい}たる代^{だい}、かくしたる人^{だい}をば、罰^{ばつじょう}状^{じょう}をすべし。
- 一 堀^{ほり}より東^{あづま}をば、屋敷^{うけそうろう}にすべからず者なり。

(今堀日吉神社文書)

問6 下線部④の地図上の位置と、下線部④が属した地域で制定された分国法の組み合わせとして正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。



- f. 大内氏掟書 g. 今川仮名目録 h. 相良氏法度
i. 塵芥集 j. 六角氏式目
ア. a, h イ. b, g ウ. c, j エ. d, f
オ. e, i

問7 空欄Cに入る、名主を中心とした百姓たちが自らつくり出した自立的・自治的な村を表した名称を漢字1文字で記しなさい。

問8 下線部⑤に関連して、村内の秩序を維持するために、村民が自ら警察権を行使して、違反者を処罰することを表した名称を記しなさい。

問9 下線部⑥について、この史料に記された座について説明した適切な文章を、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 供御人と呼ばれる人々が、商品の販売や製造における特権を認められた商工業者となったが、やがて同業者の団体である座を結成した。
- イ. 特権的な販売座席である市座や市場税などを廃止し、自由な商業取引が行われることを原則とした楽市が成立した。
- ウ. 田楽・猿楽に起源を持った能では、寺社の保護を受けた能楽師の専門集団である座が、大和・近江・丹波・摂津などで組織された。
- エ. 村の神社の祭礼を行う宮座と呼ばれる祭祀集団が、寄合と呼ばれる村民たちの会議の場となった。
- オ. 町と村との区別を進めた豊臣政権は、寺社や公家と結びつき商工業を担った座を解散させ、豪商と結んで町方での商工業の振興を図った。

問10 次の文章 a～e のうち、史料に記された内容を説明した適切な文章の組み合わせを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 村の土地と私有地との間で起こった債務関係の相論は、金銭によって解決が図られた。
- b. 村の住人ではない者に対して、領主に納める年貢を地下請によって賦課することが禁じられた。
- c. 15世紀の今堀では、寄合での決定によって、村の運営のために必要な法が定められた。
- d. 法に背き密かに代理人を介して家を売却した者に対して、今後は代理人をかくまわないよう誓わせる起請文を提出させた。
- e. 村から屋敷を借り受けて、村の住人ではない者を居住させることが禁じられた。

- ア. a, b イ. a, c ウ. b, d エ. c, e
- オ. d, e

V 次の1の文章と2の史料を読み、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。なお、史料は読みやすさを考えて一部改変している。(20点)

1 近世は大規模な飢饉が何度も発生した時代だった。「天下大飢饉」として人びとに記憶された寛永の飢饉では、1641年とその翌年の凶作により多くの餓死者や走り百姓が発生したため、これ以上百姓が疲れないような仕置きをすべしと、幕府は① 全国の大名に対して命じている。

享保の飢饉は1732年のいなごやうんかの大発生が原因で、中国・四国・九州地方を中心に深刻な被害が広がった。被災地の諸大名が幕府に被害の報告をすると、幕府は、大坂御蔵の困い米や江戸で買い上げた米、各地の幕府領の年貢米等を送って② 救援にあたった。その一方で、江戸では打ちこわしが発生している。

天明の飢饉は、多くの餓死者を出したことで知られるが、中でも東北地方での被害が大きかった。その発端は凶作にあるが、被害が拡大した理由には人為的な側面が大きい。例えば、当時、財政が疲弊していた仙台藩は、楽観的な凶作予想の下、財政再建を優先して領内米を江戸へ回送したため、凶作が確実視される時期に入って領民の食糧を確保できなかった。このように③ 三都を中心とした全国的な市場経済の展開が、飢饉の被害を拡大した。老中松平定信は、寛政の改革で各地に

A

 を作らせて飢饉に備えさせた。

しかし、その後も凶作はくり返し、天保の飢饉に際しては各地で百姓一揆が発生した。また、開国や④ 第二次長州戦争(第二次長州征討)の影響で米価が高騰した幕末にも、世直し一揆や江戸・大坂での打ちこわしが発生した。

問1 下線部①に関連して、幕府と大名の関係についての説明として誤っているものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 幕府は、関ヶ原の戦い前後に徳川氏に従った有力な外様大名の所領を遠隔地に配置した。

イ. 幕府は、大坂の陣の後に一国一城令を出して、大名の居城を一つに制限した。

ウ. 徳川秀忠が将軍になると、幕府は武家諸法度（寛永令）によって大名に参勤交代を義務づけた。

エ. レザノフ来航後にロシアとの間に緊張関係が生じると、幕府は蝦夷地を松前藩からとりあげて直轄地とした。

オ. 天保の改革に際し、幕府は江戸・大坂周辺の地を直轄地にしようとしたが、大名や旗本の反対により実施できなかった。

問2 下線部②に関連して、勘定奉行の配下にあつて各地の幕府領（幕府直轄領）の支配を担当した役職の名を記しなさい。

問3 下線部③に関連して、近世の流通や経済についての説明として正しいものを、次のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 幕府は、長崎で輸入綿糸を安く一括購入させるため、京都・堺・長崎の特定商人に命じて糸割符仲間を作らせた。

イ. 瀬戸内海沿岸では、浜辺に堤を築く入浜塩田（入浜式塩田）が発達した。

ウ. 江戸と大坂との間の積み荷を扱う二十四組問屋が江戸に置かれた。

エ. 京都の西陣から技術が伝わり、上野の桐生などで高級漆器の生産が盛んになった。

オ. 金貨の海外流出を防ぐため幕府は貨幣改鋳を実施したが、それにより物価が下落した。

問4 空欄Aに入る語を2つ記しなさい。

問5 下線部④に関連して、第二次長州戦争（第二次長州征討）が終わるまでの時期の出来事 a～e について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 改税約書に調印 b. 桜田門外の変 c. 禁門の変
d. 八月十八日の政変 e. 安政の大獄
ア. c → a → b → d → e イ. b → e → a → d → c
ウ. e → b → d → c → a エ. a → b → c → d → e
オ. d → b → c → e → a

2 史料

(天保十二年十二月) 此度市中風俗改まり候様にとの御趣意ニ之有り候処⑤、近來役者共芝居近辺住居いたし、町家の者同様立ちまじり、ことニ芝居^(注1)共狂言^し組^(注2)甚だ猥^{はなは}り^{みだ}ニ相成^{あいな}り、右ニ付いては自然市中えも風俗押し移り、近來別^{べつ}して野鄙^{やひ}ニ相成^(注3)り、又は時々流行の事など多くは芝居より起こり候儀に候、よりてハ往古ハともかくも、当時御城下市中に差し置き候てハ、御趣意にも相戻^{あいもと}り^(注4)候事に候、一体役者共儀ハ身分^⑥の差別も之有り候処、いつとなく其の隔ても之無き様ニ相成^⑦り候ハ不取締^{ふとりしまり}の事ニつき、此の節堺町・葺屋町両狂言座ならびに操^{あやつり}芝居^{しば}、其の外右ニ携^いわり^そ候町屋^{ほか}の分残^{たずさ}らず引き払い^{おお}仰^{いだ}せ出され候

(『市中取締類集』)

(注1) 江戸堺町・葺屋町・木挽町にあった江戸歌舞伎三座。

(注2) 狂言の趣向。 (注3) 最近特に卑しくなり。

(注4) 幕府の意向に背く。

問6 下線部⑤に関連して、江戸の遊里に精通し、洒落本の『仕懸文庫』を執筆したことにより、寛政の改革に際して幕府から処罰された人物の姓名を記しなさい。

問7 下線部⑥に関連して、徳川家光から家綱へ将軍が代替わりする頃の江戸では、牢人等への対策が重要な課題となっていた。そのことを幕府に強く意識させる事件を引き起こした兵学者（軍学者）の姓名を記しなさい。

問8 下線部⑦に関連して、近世の身分に関する次の記述 a～c について、正しいものと誤っているものの適切な組み合わせを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 村は百姓の家から構成され、村役人を中心とする本百姓によって運営された。
- b. 京都の町人学者石田梅岩は、『政談』を著して経世論に道を開いた。
- c. 近世後期の藩政改革では、中・下級武士の中から有能な人物が登用され、薩摩藩では調所広郷が財政改革にあたった。

- ア. a = 正 b = 正 c = 誤 イ. a = 誤 b = 正 c = 誤
ウ. a = 誤 b = 正 c = 正 エ. a = 誤 b = 誤 c = 正
オ. a = 正 b = 誤 c = 正

問9 上記の史料が記された天保年間に関する次の記述 a～d について、正しいものの組み合わせを、下のア～オの中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 大坂町奉行所の元与力である陽明学者が、貧民救済を主張して武装蜂起した。
- b. イギリス軍艦がオランダ船をだ捕しようとして長崎湾に侵入し、オランダ商館員を人質にとる事件が発生した。
- c. 幕府の対外政策を批判する書物を書いたことで、渡辺崋山が幕府に処罰された。
- d. 幕府が無宿人を強制収容し、そこで技術を身につけて社会復帰させるための施設を設置した。

- ア. a・b イ. b・c ウ. c・d エ. a・c
オ. b・d

問10 上記の史料に関する説明，および近世の歌舞伎・芝居に関する説明として正しいものをすべて選んで，その記号を記述解答用紙に記しなさい。すべて誤りの場合は，「なし」と記しなさい。

- a. この史料では，芝居の役者が町人と接触することで，江戸市中の風俗が乱れることを問題としている。
- b. この史料では，荒廃した農村に活気を取り戻すため，芝居の役者を江戸から地方へ移住させようとしている。
- c. 元禄年間の歌舞伎では，上方で坂田藤十郎が活躍した。
- d. 文化・文政年間頃になると，都市部だけでなく地方の村でも，村人により芝居が上演された。

